

Contents

- 2-4 高知県町村長・町村議会議長大会
- 5 高知県町村会 定例会
当選首長の紹介
- 6 高知県町村議会議長会 定期総会
- 7 当選議員の紹介
副町村長会 第5回県内研修

町村 まち

2026

3

Mar



地方財政の充実・強化及び地方創生の推進など6議題及び 四国新幹線の整備促進に関する特別決議など3議題を決定



大会議長を務める五味 町村議会議長会長



開会の挨拶をする上村 町村会長

令和8年2月20日、高知県町村会と高知県町村議会議長会は、ザクラウンパレス新阪急高知において高知県内23町村の町村長・町村議会議長が一堂に会する高知県町村長・町村議会議長大会を開催した。この大会は、議会と執行部という立場を超えて「地域を元気にする」という強い信念のもと、町村の抱える諸課題について審議し、その実現のため、お互いに連携を密にしなが、一体となった政務活動を積極的に展開することを目的に平成23年から開催し、今回で16回目の開催となる。

主催者を代表して上村 町村会長（北川村長）が開会の挨拶に立ち、続いて本大会の意義を明確にするため、大西 町村会副会長（黒潮町長）が宣言（案）の朗読を行い、満場の賛同を得て、原案どおり本大会の宣言が決定された。

次に来賓祝辞に移り、濱田 高知県知事、三石 高知県議会議長、河野 全国町村会行政部長及び鈴木 全国町村議会議長

会企画調整部長から祝辞をいただいた。

議事に先立ち、五味 高知県町村議会議長会長（馬路村議会議長）が議長に選出され、要望事項である6議題を、池田日高村議会議長、坂本 田野町長、沖三原村議会議長、片岡 仁淀川町長、仙頭芸西村議会議長、岡田 大月町長が提案理由の説明を行い、満場一致で採択・決定された。

その後、本大会の決議及び特別決議の速やかな実現に向けた実行運動方法について、両会会長への一任を確認し、大会を終了した。



宣言を朗読する大西 町村会副会長



来賓の鈴木 全国町村議会議長
企画調整部長



来賓の
河野 全国町村会行政部長



来賓の
三石 高知県議会議長



来賓の
濱田 高知県知事

決議

- 1 地方財政の充実・強化を図り、地方創生を推進すること
- 1 農林水産業の振興対策及び農山漁村の活性化対策を強化すること
- 1 南海トラフ地震対策及び防災・減災対策を推進すること
- 1 医療・福祉施策を充実・強化すること
- 1 交通基盤等インフラ整備を促進すること
- 1 脱炭素社会の実現に向けた取組をより一層推進すること

特別決議

- 参議院選挙の合区見直しに関する特別決議
- 「議員のなり手不足対策」及び議会への多様な人材の参画に関する特別決議
- 四国新幹線の整備促進に関する特別決議

参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議

日本国憲法が昭和22年に施行されて以来、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年以降、5度の合区による選挙が実施された。

その結果、比例代表に新たに「特定枠」が導入されたものの、投票率の低下や直接候補者と接する機会の減少、自県を代表する議員が出せないなど、合区を起因とした弊害は明らかである。

これからの時代の「この国のあり方」を考えていく上で、多様な地方の意見が国政の中でしっかりと反映される必要があり、都道府県ごとに集約された意思として参議院を通じて国政に届けられなくなることは極めて問題であり、地方創生や安心安全な国づくりにも逆行するものである。

合区に対しては、地方六団体の全団体において合区の早期解消を決議しており、合区問題の抜本的な解決は「地方の総意」でもある。

ついでに、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とするため、憲法改正も含め「参議院の合区解消」を早急に実現することを強く求める。

以上、決議する。

令和8年2月20日
高知県町村長・町村議会議長大会



提案理由の説明をする
池田 日高村議会議長



提案理由の説明をする
坂本 田野町長



提案理由の説明をする
沖 三原村議会議長



提案理由の説明をする
片岡 仁淀川町長



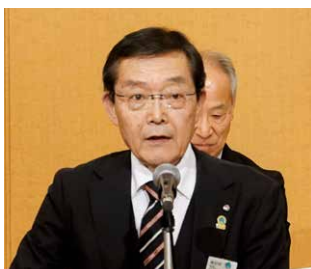
提案理由の説明をする
仙頭 芸西村議会議長



提案理由の説明をする
岡田 大月町長



決議を朗読する
岩本 本山町議会議長



特別決議を朗読する
小田 越知町長



特別決議を朗読する
木下 奈半利町議会議長



特別決議を朗読する
下村 大豊町長

「議員のなり手不足対策」及び議会への多様な人材の参画に関する特別決議

町村議会は、地域が抱える様々な課題の解決に向け、多様な住民の声を集め、その負託にこたえて議論を重ね、地方公共団体の意思決定を行うなど、日々、精力的に活動している。

しかしながら、近年の町村議会議員選挙においては、投票率の低下とともに、無投票当選者の割合が増加し、一部の町村では定数割れも生じるなど、議員のなり手不足が深刻化している。

このような状況を打開し、多様な人材が議会に参画できるようにするためには、議会の機能強化を図るとともに、立候補を阻害する要因を取り除き、志を抱く誰もが議員として活躍できる環境を整備しなければならない。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、下記の事項について早急に実現するよう強く要望する。

記

- 1 議員のなり手不足による地方自治の弱体化が将来的に我が国の民主主義にも影響を与え得ることを踏まえ、町村議会が行うなり手不足対策に財政支援を行うこと。
- 1 町村議会の議員報酬はそれだけでは生計を維持できないほどの低水準であることから、若者や女性、会社員などが議会に参画できるよう、議員報酬に生活給的要素が含まれることを明確にすること。
- 1 国民の幅広い政治参加や地方議会への多様な人材参画を促進する観点及び厚生年金の適用拡大が進んでいる状況を踏まえ、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現すること。
- 1 若者や女性、会社員など多様な人材の議会への参画を促進するため、議員への立候補や議会・議員活動のための休暇・休職制度と議員退職後の復職制度を整備すること。
- 1 地方自治法の改正により地方議会の役割及び議員の職務等が明文化されたことも踏まえ、地方議会に対する住民の理解と関心を深め、多様な人材の参画を促すため、主権者教育を一層推進し、更なる地方議会の啓発を行うこと。特に、議会自らが主体的に行う出前講座や模擬議会などの主権者教育の取組に対する支援を講じること。

以上、決議する。

令和8年2月20日
高知県町村長・町村議会議長大会

四国新幹線の整備促進に関する特別決議

全国各地で高速鉄道ネットワークの整備が着々と進む中、四国は全国の中で唯一新幹線の空白地帯となっており、四国地方の発展を図っていくためには、圏域内と大都市を結ぶ高速交通ネットワークの整備が不可欠である。

2024年の政府の経済財政運営の指針「骨太方針」では、2023年に続き、基本計画路線を取り上げ、「地域の実情に応じた諸課題について方向性を含め調査検討を行う」としている。

1973年に四国新幹線が基本計画路線に策定されてからはや半世紀を超え、最速で2037年にはリニア中央新幹線が開業し、北陸新幹線は京都、新大阪まで、また、北海道新幹線は、札幌まで延伸する計画であるのに対し、四国新幹線は未だ、基本計画のままであり、設備計画への格上げに向けた取組を、さらに強化していく必要がある。

四国に新幹線が整備されれば、四国内における移動時間の大幅短縮のみならず、関西、九州など既存の新幹線ネットワークとの接続による広域交流圏が形成され、観光や産業面での広域的な人流を呼び込むことにより、今後の我が国の経済成長をけん引する地方の発展を支え、地域活性化と未来に繋がるまちづくりを促進するとともに、さらに2050年のカーボンニュートラル社会の実現のためにも、一日も早い整備が望まれている。

よって、国においては、四国新幹線について早急に整備計画への格上げ及び早期実現に向けた措置を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

令和8年2月20日
高知県町村長・町村議会議長大会

高知県町村会 令和7年度

第2回定例会開催

令和8年度

一般会計予算等を可決

令和8年2月20日、高知県町村会は、ザクラウンパレス新阪急高知において、令和7年度第2回定例会を開催した。

上村町村会長の挨拶の後、議事に移り、令和7年度一般会計予算を含む4議案が審議され、原案どおり可決、承認された。

終わりに、上村町村会長から自治体情報システムの標準化について現状の動向と課題認識についての報告が行われた。



開会の挨拶をする上村 町村会長

当選首長の紹介



梶原町長
たかはし もとふみ
高橋 基文 氏 (61)

【ご挨拶】この度の町長選挙におきまして、町民の皆様のご支援とご厚情を賜り、町長に就任させていただきました。町初の民間出身であります。歴代町長のご功績に恥じぬよう、全身全霊で取り組んでまいり所存であります。今後は住民、団体、議会、行政が一体となった「町民一人ひとりが主役のまちづくり」に向け、更にこの町で「生ききる」ことのできる施策に取り組んでいき「笑顔あふれるまちづくり」を目指してまいりますのでご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

【経歴】大阪学院大学法学部卒

平成 19年 5月	梶原町議会議員初当選	令和元年 5月	梶原町議会議員
平成 25年 5月	梶原町議会議長 (2年間)	令和 3年 11月	辞職
平成 29年 6月	梶原町議会議員辞職	令和 7年 12月	梶原町長就任



三原村長
たけうち のりお
武内 則男 氏 (67)

【ご挨拶】昨年末の三原村村長選挙におきまして、向こう4年間の村政のかじ取り役を付託されました。数多くの課題が山積する中ではありますが、重要なのは「生き残り」ではなく「自信と誇りの継承」という視点に立ち、三原村が培ってきた歴史、文化、自然、コミュニティという資産を次世代に引き継ぎながら、時代に即した持続可能な地域モデルを構築していくために、果敢に挑戦してまいります。

【経歴】県立高知工業高等学校土木課卒業

昭和 52年 4月	高知市役所入職	平成 29年 10月	衆議院議員
平成 15年 4月	高知市議会議員	令和 7年 12月	三原村長就任
平成 19年 7月	参議院議員		



中土佐町長
いけだ ひろみつ
池田 洋光 氏 (71)

【ご挨拶】この度、中土佐町長として6度目の当選を果たささせていただきその責任の重さを痛感しております。これまでの20年間は、小泉構造改革にはじまり、リーマンショック、政権交代、東日本大震災、コロナ禍などまさに激動の時代でした。その都度、町民の皆様との協働により前向きに町政を進めてまいりましたが、現在「子どもがいない！」という難題に直面しています。今一度初心に帰り、幸せのまちづくりの実現に全力で取り組んでまいりますので、どうか倍旧のご指導をお願い申し上げます。

【経歴】京都産業大学経営学部卒業

平成 3年 4月	中土佐町議会議員 (4期連続)	平成 29年 7月	全国町村会副会長 (1期)
平成 18年 2月	中土佐町長 就任		
平成 29年 2月	高知県町村会会長 (2期連続)	令和 8年 2月	中土佐町長再任 (6期目)

第77回議長会定期総会開催 町村議会表彰は北川村議会が受賞

高知県町村議会議長会は、去る2月20日、高知県自治会館に県内23町村の議会議長、事務局長等44名が集い、第77回定期総会を開催した。

開会冒頭の五味会長（馬路村議会議長）の挨拶に続いて、全国町村議会議長会の自治功労者表彰及び町村議会表彰の伝達式が行なわれた。（被表彰者は後記記載）

また、当会前会長の筒井公二氏に感謝状を贈呈した。

引き続き、総会議長に大川村議会の和田民夫議長を指名選出し議事に入った。

議事では、会務報告及び役員異動報告が行われた後、令和8年度一般会計予算議案等3議案を原案どおり可決した。



定期総会の様子

全国町村議会議長会表彰

自治功労者表彰

【議長7年以上在職者】
馬路村 五味 隆仁

【議員50年以上在職者】
安田町 太田 賢三

【議員27年以上在職者】
大豊町 佐藤 徳治
いの町 伊東 尚毅
四万十町 林 健三

【議員15年以上在職者】

馬路村 皆津 由理
馬路村 岩城 勝則
芸西村 仙頭 一貴
大豊町 藤丸 高徳
いの町 井上 正臣
越知町 高橋 丈一
越知町 市原 静子
四万十町 中屋 康

町村議会表彰

北川村議会

【町村議会議員特別表彰者】
北川村 議長 岩垣 實男
いの町 前議長 筒井 公二

高知県町村議会議長会 感謝状贈呈

前会長 筒井 公二



自治功労者表彰
(議員15年以上在職者)を受ける
大豊町議会 藤丸議長



自治功労者表彰
(議員27年以上在職者)を受ける
大豊町議会 佐藤議員



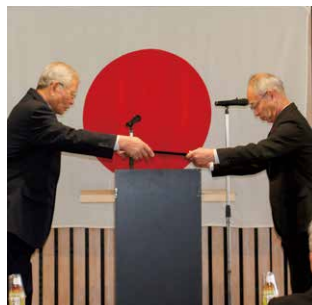
自治功労者表彰
(議員50年以上在職者)を受ける
安田町議会 太田議員



自治功労者表彰
(議長7年以上在職者)を受ける
馬路村議会 五味議長



自治功労者表彰
(町村議会議員特別表彰)を受ける
筒井 前いの町議会議長



自治功労者表彰
(町村議会議員特別表彰)を受ける
北川村議会 岩垣議長



町村議会表彰を受ける
北川村議会 岩垣議長



感謝状を受ける筒井前会長
(前いの町議会議長)

当選議員の紹介

1月に行われた東洋町議会議員選挙、仁淀川町議会議員選挙、中土佐町議会議員選挙の結果、次の方々がご当選され、組織議会で議長（◎印）、副議長（○印）が選出されました。心よりお慶び申し上げます。

◆東洋町（任期 R 8・1・30～）

今宮 幸太 (39) 無新
大坪 千倫 (33) 無現
岡 洋志 (52) 無新

高島 俊彦 (74) 無現
武山 裕一 (62) 無現
田島 毅三夫 (78) 無現

○ 廣田 斎史 (59) 無現
◎ 安岡 良仁 (64) 無現

◆仁淀川町（任期 R 8・2・1～）

大石 邦廣 (70) 無新
大野 弘 (70) 無現
岡田 良成 (78) 無現
片岡 智準 (79) 無現

竹本 文直 (75) 無現
野村 安夫 (76) 無現
藤崎 源彦 (65) 無現

○ 藤原 大 (35) 無現
古田 智子 (60) 無新
◎ 若藤 敏久 (78) 無現

◆中土佐町（任期 R 8・2・5～）

○ 金子 裕之 (52) 無現
窪田 和教 (74) 共現
佐竹 敏彦 (74) 無現
下元 良之 (69) 無現

田上 幸平 (58) 無新
中川 忠司 (60) 無新
中城 重則 (76) 無現
中野 大地 (44) 無現

濱田 和昭 (53) 無現
◎ 福永 守恭 (71) 無現
松下 昇平 (37) 無新
山本 建生 (79) 無現

▶ 町村会

日高村の先進的な取組を視察 高知県副町村長会第5回県内研修

令和7年11月26日、高知県副町村長会は、県内の先進的な取組を学ぶことを目的として、第5回県内研修を日高村役場で実施し、18名の副町村長が参加した。

研修会は、都築仁 会長（芸西村副町村長）の挨拶で始まり、続いて開催地の松岡 宏 日高村村長より歓迎のご挨拶をいただいた。

研修に移り、まず始めに、産業環境課の吉川 主事から「脱炭素先行地域の取組」について説明を受けた。日高村は須崎市との共同提案により環境省の選定を受け、役場庁舎や図書館、運動公園、JA施設などに太陽光パネルと蓄電池を整備し、公共施設の電力を再生可能エネルギーで賄う体制づくりを進めている。また、基幹産業であるシユガートマト栽培のハウスでは、重油ボイラーに代わるヒートポンプ等の高効率暖房を導入し、CO₂排出と燃料費の

削減を図っている。こうした事例から、地域特性を踏まえた持続可能なエネルギー戦略のあり方について、多くの学びを得た。

続いて後半は、企画課の前田 課長から「スマホ普及率100%の取組」について説明を受けた。日高村では、人口減少と高齢化が進む中で、行政サービスの維持・向上にはデジタル活用が不可欠とし、特に所有率が低い高齢者層に向けて、いわゆるデジタルデバインド層の解消のため「村まるごとデジタル化事業」による多方面からの取組を進めていることが紹介された。地域課題の解決に向けて必要となる視点と手法を実践事例を学べ、大きな示唆を得る機会となった。

日高村の先進的な実例をもとに参加者と講師の間で意見交換が行われ、各地域での活用可能性について活発な議論が交わされ、非常に充実した研修となった。



挨拶をする都築 会長



歓迎の挨拶をする松岡 村長



研修の様子



庁舎視察の様子

NEW
宝くじ

宝くじ
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

★**QuickOne**

クイックワン

宝くじ
公式サイトで
発売中!



今すぐ会員登録!

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

宝くじの収益金は
私たちの街の公共事業等に
役立てられています。

